

## 教員の養成に係る教育の質の向上をめざす取り組み

比治山大学では、全学的な取り組みと学科独自の取り組みを、1年次からカリキュラム内外において、教員養成に係る資質の向上をめざして実施している。

### ① 教育委員会との連携事業・教育実習・学校支援ボランティア・教師塾

教育委員会と大学は連携事業として、教育実習・介護等体験実習と学校支援ボランティアの2点を実施し、優れた実践的指導力を身につけた質の高い教員の養成・育成を目指している。

1点目は、教育実習と介護等体験実習である。近隣大学で参集している広島地区大学教育実習研究連絡協議会において、広島県教育委員会や市町教育委員会、受け入れ学校と連携を図りながら、毎年、教育実習などの成果や課題を共有し、教職学生の一層の質の向上を図る取り組みを進めている。

2点目は、学校支援ボランティアである。市町教育委員会、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校と大学間で密に連携を図っており、毎年、教職を目指す学生が多数参加している。(受入校約60校、参加者数約50名)

3点目は、教育委員会主催の教師塾への参加である。  
広島市主催ひろしま未来教師セミナーへ、大学2・3年の学生が参加している。

### ② 学びのガイドブック

教師になる夢をもった学生が、資質や能力を身に付けた教師になれるように、大学(短大)1年次から、どのような授業を履修し、どのように学び進めることが必要かを教職学生にガイドするために作成している。このガイドブックは、1年次教職に関する科目「教職入門」の履修学生用の指導資料として活用するとともに、「履修カルテ」とあわせて卒業するまでさまざまな教職学生の指導場面で使用している。

### ③ 教員採用試験対策講座

教師を目指す学生を総合的に指導支援するために教職指導センターを設置している。

教職全般に関する指導や個別相談を行い、教員採用試験対策や教職への就職支援を進めている。

教員採用試験対策講座については、教科教養指導、教職教養指導、面接指導、指導案作成指導、模擬授業指導等、教師としての能力育成の集大成と位置付けている。